

留学経験者アンケート

①

都市名	ニース
留学先	ニース夏期国際音楽アカデミー
学んだ分野	声楽伴奏(ピアノ)
留学期間	2010 年 8 月～2010 年 9 月
留学形態	自己手配

②留学の動機

留学に至った動機を教えてください。また、フランスを選択した理由、他国との比較、決め手になったこと等お答えください。

普段伴奏をしている歌い手の友人数名から、ニース夏期国際アカデミーでレッスンを行っているダルトン・ボールドウィン先生のクラスが素晴らしい、というロコミを聞いて。

③留学前の準備期間、言語の勉強方法

留学を思い立ってから実際に現地へ出発するまで何か月くらいの準備期間が必要でしたか？
思いつてから現地へ発つまでは約2ヶ月。

準備期間中にいちばん大変だったことも教えてください。
準備で一番大変だったのは、レッスンに持って行く曲の練習。

留学前に英語またはフランス語をどれくらい勉強しましたか？その際に語学試験を受験した場合は試験名もお答えください。
留学のための語学の勉強はほとんどしない状態で行きました。日常会話が困らないような旅行用の本を一冊買って移動中に読んでいた程度。

留学先で学んだ内容について、留学前にどの程度の技術を習得していましたか？
歌い手と組んで、日本でも何度か歌とピアノで合わせて練習し、一応人前で演奏出来るレベル程度までは作った上で、先生にレッスンしていただいた。

④情報収集方法

留学についての情報収集はどのようにしましたか？
友人から話を聞いて。

留学先選択時に重視した情報を教えてください。
師事する先生とカリキュラム

⑤出願・入学試験

出願時に提出した書類と、提出方法を具体的に教えてください。

出願時に提出した書類・・・申込書

提出方法・・・オンライン

入学試験を受けましたか？またその内容を教えてください。

なし

⑥学費、生活費等

留学中にかかった学費(＋諸経費)の総額はおよそいくらでしたか？どのような支払方法が便利でしたか？

講習費用は約20万円。

カード払い。

学費以外の生活費(住居費、食費、光熱費、教養・娯楽費など)の、1か月平均額または留学期間全体の金額、及び内訳を教えてください。

全部で約50万円ほど

⑦授業等

授業の特徴や受講した感想や工夫、苦勞した点を教えてください。

受講して良かった。先生が模範に弾いてくださる生の音楽・生の音は、行かなければ体験出来なかった。苦勞は、語学の勉強をもっとしていけば良かったと後悔した事。レッスンは通訳の方がいいけど、それ以外の時間は片言の英語でのやり取りになり、もっと堪能に話せれば、先生と更に密なコミュニケーションをとる事が出来ただろう、と思う。

語学コースは受講しましたか？期間はどのくらいで1日何時間くらい受講しましたか？

なし

留学先の施設は充実していましたか？また、授業外でも自主的に利用することはできましたか？

練習室は予約制で一人2時間利用可能だったが、ほぼクラスの聴講をしていたため、レッスン前の早朝、レッスン室で先生が来る前に1時間練習するのみで、練習室は利用しなかった。

コンサートや美術展に行くあるいは参加するなど、クラス外で、留学目的に関連する活動を行いましたか？

ニースでは、初めての単身海外な上に短期だったので、夏期講習以外にはほとんど活動しなかった。

旧市街を散策したのと、ちょうど蚤の市をやっていたので、蚤の市を楽しみ、そこで購入したマットはお気に入りでも愛用している。

ニースの事ではないので余談だが・・・。

つい先日ウィーンに行ったが、だいぶ慣れてきた事もあり、レッスン後にはかなりコンサートやオペラ鑑賞に出掛けた。

また、2年前にイタリアの音楽祭に参加した際も、復活祭のシーズンだけフィレンツェに移動し美術館をかなり見た。

やはり音楽以外の、その国の芸術文化に触れる事もとても大切だと感じる。

クラスの数や年齢層、学生の専門分野における能力レベルはどのようでしたか？

日本人は音大卒業後に受講している人が多かったが、外国人は学生が多く、全体的な年齢層は低めだった。

能力レベルは非常に高かった。また、音楽に関するレッスンをしながら、そこにフランス語・イタリ

ア語・ドイツ語と、それぞれその国の原語を専門とするディクシヨンの先生もいらっやって、会話とは違う歌う上での発音・発語の仕方の指導も入った。そういうタイプのレッスンは、それまでも、そしてその後も、日本では見た事も受けた事もない。非常に、贅沢なレッスン環境だったと思う。

先生とのやり取りでよかったこと、大変だったことはありましたか？

これからの自分に何が必要か、明確に示してもらえた事が良かった。大変だったのは、先生の指示でほぼ1日先生の隣にいたので、他のクラスの聴講や自分の練習時間はあまりとれなかった。(それでも、あのように過ごしたのは、とても有意義だったと感じている)

⑧住居

住居について教えてください。

住まい・・・寮

住居を決めた際の基準

学校から近かったのも、あとホテルステイと比べ費用も抑えられる。

住居でトラブルはありましたか？あった場合、どのように対処しましたか？

トラブルは特に無し。虫が多いのが、慣れるまで大変だった。

⑨現地生活状況・治安状況・健康管理・各種相談先など

日本から調達・持参していった方がよいものと、現地で調達したほうがよいものがあれば教えてください。

ニースにも持って行ったり、海外に行く際いつも持って行くのは、お湯を入れるだけのお味噌汁と、粉のポカリ。

校内・校外で問題があったとき、誰に相談しましたか？また、どのように解決しましたか？

特に問題は起きなかった。

現地の人(学生に限らず)や他の留学生との文化的摩擦、トラブルの経験や、異文化の中で気がついた点がありましたか？

特に無し。気さくに挨拶など声をかけられたり、道に迷った時に分かりやすい大通りまで案内してもらったり、良い事の方が多かった。

現地の治安状況についてどのように情報収集しましたか？また治安状況を踏まえて気をつけた点について教えてください。

ニースの治安は良い印象。でも、スリだけはいつも注意していた。

犯罪や危険な目にあったことはありましたか？その際どのように対処しましたか？

犯罪にあったことは無し。

私は、特に危険な目には遭いませんでしたが、同じ期間に留学に来ていた同世代の女の子が、電車かバスか、、、何か乗り物に乗っている時にスリに遭ったようである。すぐに気付いて追いかけたけど、そのまま逃げられてしまったようで・・・その後の対処は、よく記憶していない。

どのような保険に入っていましたか？留学先校など現地で保険の指定はありましたか？

旅行会社で保険に入った・・と記憶している。

日本またはフランスで予防接種・健康診断を受けた場合、その内容をお教えてください。

無し

現地の医療サービスを受けましたか？またその場合、気をつけるべき点があれば教えてください。

無し

⑩帰国経験と進路、仕事、学業との関係

現在の状況について、差し支えない範囲で教えてください。

フリーで、声楽伴奏を中心に演奏活動をしている。

留学経験はどのように活かされていますか？あるいはどのように活かす予定ですか？

ニースから帰国してから、それまでと比べ音の色彩感が変わったと、音楽家の友人に言われる事が何度かあった。レッスンで学んだ事や、ニースでの生活の中で感じたものが、僅かでも演奏に反映していたのかもしれない。

その後も、何れも短期ですが、イタリア、ウィーンなど幾つかの国へ短期留学に行っている。その国のカラーも異なり面白い。

⑪後輩へのアドバイス

これまでの留学準備と留学生生活を振り返って、これから留学を考えている後輩へのアドバイスをお願いいたします。

語学は結局現地に行ってからという話はよく聞くけど、行ってすぐにコミュニケーションが必要になる事もある。やっぱり、出来ないよりは、出来た方が良い！ コミュニケーションが円滑なぶん、その地域に馴染むのも早いと思う。

たくさんの音楽を聴いて、知っておくこと。自分の専門分野に限らず。音楽以外でも、美術や文学など、音楽と、通じているその他の分野にも興味を、広げて、たくさんの引き出しを多く持つておくのはとても大事な事だと思う。